

ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 9 月 23 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



9 月 24 日～30 日は結核予防週間です！

知ってますか？「結核」が現代の病気だってコト

日本では、1日に**50人**、年間**18,000人**が新たに発症し、**2,000人**の方が亡くなっています。**「結核」**は今でも私達の身近にある病気です。**2週間以上、咳やたんが続く場合は早めの受診を。**

国内の結核（2015年）

結核新規登録患者数 <small>（新たに結核と診断された患者）</small>	18,280人 <small>（岐阜県 314人）</small>	罹患率	14.4 <small>（岐阜県 15.4）</small>
結核死亡数（概数）	1,955人	死亡率	1.6 <small>（岐阜県 1.5）</small>

※率は人口10万人あたり

県内では
1年間に300人以上が
結核を発症しています



どんな病気？

結核菌が体の中に入り、増えることによって起こる病気です。
主に肺の内部で増えますが（肺結核）、腎臓、腸など肺以外の臓器で増えることもあります。
肺結核の場合、咳、たん、発熱など、かぜに似た症状が長く続きます。
発病しても、服薬による治療で完治します。

どう感染するの？

患者のたんに含まれる結核菌が、咳やくしゃみで拡散し、**空気感染**します。
結核菌を吸い込んだ人のうち、1～2割の人が約2年以内に発病します。
その他の人は、免疫の働きによって結核菌は体内で冬眠状態に入りますが、
体の免疫力が弱まると冬眠状態の結核菌が再び活動を始め、発病することがあります。

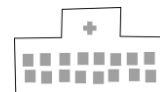
予防のために大切なこと

● 2週間以上、咳やたんが続くときは、医療機関を受診しましょう

早期発見は、本人の重症化を防ぎ、周りへの感染拡大を防ぐために重要です。
高齢の方が、倦怠感が続いたり、急にやせてきたりした時も早めの受診を。



● 学校や職場、地域の定期健診をきちんと受けましょう



● 1歳までにBCG接種を受けましょう

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になることがあります。
予防のために、お住まいの市町村の案内に従って接種を受けましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

